

平成31年度 第3回 魚津市子ども・子育て会議

1 日 時 令和2年3月24日(火) 14時から15時まで

2 場 所 魚津市役所 第一委員会室(4階)

3 出席者 【魚津市子ども・子育て会議委員(15名)】

奥田 實 (富山県立大学 名誉教授)  
河崎 真理子 (魚津市保育研究会 会長)  
新夕 佳子 (魚津市幼稚園教育研究会 代表)  
石倉 啓子 (うおづ女性の会連絡会 監事)  
橋本 斎 (魚津市PTA連合会 会長)  
藤田 ちあき (魚津市母子保健推進員連絡協議会 会長)  
宮坂 康典 (魚津商工会議所 代表)  
水口 秀人 (魚津市民生委員児童委員協議会)  
関口 孝子 (魚津市民間保育連盟 代表(天神保育園長))  
沼田 佳奈子 (新川厚生センター魚津支所 支所長)  
野村 博 (魚津市公民館連合会 代表)  
柴垣 尚一 (魚津市時事振興会連合会 代表)  
高畠 克明 (連合富山新川地域協議会 事務局次長)  
稗苗 淳子 (公募)  
慶野 香里 (公募)

欠席者 【魚津市子ども・子育て会議委員(3名)】

中村 重明 (魚津市社会福祉協議会 事務局長)  
松原 仁美 (魚津市小学校長会 会長)  
宝田 幸嗣 (魚津市中学校長会 会長(西部中校長))

事務局

矢田 厚子 (民生部長)  
南塚 智樹 (教育委員会教育次長)  
窪田 昌之 (こども課長)  
森山 明 (健康センター所長)  
上坂 一弘 (学校教育課長)  
上田 洋美 (健康センター 母子保健係長)  
近堂 暢昭 (学校教育課 学校教育係長)  
米島 智晴 (こども課 子育て支援係長)  
堀内 京子 (こども課 保育係長)  
濱田 勇輝 (こども課 保育係)

## 4 審議内容

### 1 開会

#### 事務局

本日は、お忙しい中ご出席頂きまして、ありがとうございます。

只今より平成31年度第3回魚津市子ども・子育て会議を開催します。開催に先だって魚津市民生部長矢田厚子より挨拶を申し上げます。

### 2 あいさつ

#### 民生部長

本日は年度末のお忙しい中、会議にご出席いただきありがとうございます。また、最近、新型コロナウイルス感染症に伴い、各機関では、それぞれ対応に苦慮されていると思いますが、魚津市と言いますか富山県では発生が出ておりません。このまま、終息に向かうことを望んでおります。

保育所等では、通常と変わらず開所しておりますので、そこで感染することが無いように各関係機関の皆様も尽力して頂いていると思っております。この尽力に感謝申し上げながら、本日は、会議を進めていきたいと思っております。

まず、第2期子ども・子育て支援事業計画につきましては、前回素案を示しまして、その後、パブリックコメントを開催いたしました。そこで寄せられた意見等を今回皆様にご提出した資料に、どのように反映させたか説明させて頂きまして、委員の皆様からご意見を頂きまして、最終的な案を今月中には作成したいと考えております。

子ども・子育ての支援事業としては、多様なニーズに対応することが厳しい時代ではありますが、子ども達が健やかに伸びる環境を魚津市としては守っていきたくと思っておりますので、この計画の中でそれぞれの方針を決めて、新しい年度に向かって計画を進めていきたいと思っております。

本日は、皆様の忌憚のない意見を頂けるようお願いを申し上げまして、簡単ではありますが、開会の挨拶とさせて頂きます。本日は、よろしく願いいたします。

#### 事務局

本日欠席の委員につきまして、ご連絡いたします。

中村委員、宝田委員、松原委員以上3名の方は、ご都合により欠席の連絡を頂いております。

(この後、配布資料の確認)

それでは、奥田委員長本日の協議事項について、進行をお願いします。

#### 奥田委員長

皆様、新型コロナウイルスで大変だと思いますが、子ども課始め魚津市は、様々な対応で非常に忙しかったと思います。特に、学童関係は学校の休校で対応が非常に難しかったと聞いておりましたが、無事乗り切っておられるということで良かったです。

新型コロナウイルスは、高齢者が罹患すると大変であるという風に言われていますが、当然、子ども達も重症化するケースが無いとも限らないので、そういった面も含めて子ども達のために様々な施策を今後進めていかなければならないと思います。

また、本日は、パブリックコメントを受けた形の「第2期子ども・子育て支援事業計画（素案）」ができておりますので、皆様方の率直な意見をお聞きしたいので、よろしくお願ひいたします。

### 3 協議事項

(1)「第2期子ども・子育て支援事業計画（素案）」に関するパブリックコメントの実施結果について  
事務局説明

昨年の12月25日に第2回の子ども・子育て会議を開催しまして、委員の皆様にはたくさんの意見を頂きました。その意見を反映したものでパブリックコメントを実施しております。

期間は、令和2年1月22日～2月14日まででした。配布資料は、お手元にお配りしている素案の1つ前のものになります。今回、皆様にお配りしているものは、パブリックコメントを受け、それを反映したものになります。

資料の閲覧場所は、魚津市HP、魚津市子ども課、地区公民館、図書館、健康センター、児童センター・児童館、保育園、認定こども園、幼稚園で実施しました。

周知方法は、魚津市HPにて実施しております。

意見等を提出できる方は、魚津市に在住・在勤の方、魚津市に事務所・事業所を有する個人・法人・団体、パブリックコメントを実施している事案に利害関係を有する方となっております。

意見等の応募方法は、応募用紙に住所、氏名、意見等の必要事項を書いて頂き、郵送、FAX、持参、電子メールで魚津市子ども課に提出して頂きました。

その結果、この計画の素案に対して、4人の方から8件の意見を頂きました。その中で、具体的に計画に反映したものは6件で、その他の意見については今後の子ども・子育て支援策の参考とさせて頂きました。

意見の内訳は、「教育・保育事業の見込み量と確保の内容に関する事」が1件、「保育園等に関する事」が3件、「子ども・子育て施策について」が2件、「子どもの遊びに関する事」が2件の合計8件となっております。

意見の提出方法は、「直接提出」が2人、「電子メール」が2人となっております。

資料1のP2を開いて下さい。頂いた意見をこちらに載せています。頂いた意見とそれに対する魚津市の考えを載せ、素案に反映させて、本日配布しております。

まず、「教育・保育事業の見込み量と確保の内容に関する事」のご意見は、「0歳児について見込み量と確保の内容の数値の乖離が大きい。」ということです。「第2期子ども・子育て支援事業計画（素案）」は、待機児童が発生しないために計画を立てるものなので、魚津市として多方面の施策を含めて対応策を記載し、5年後には待機児童が発生しないような数字にしなければならないのではないかということです。

素案の時に「見込み量と確保の内容」として、0歳児が令和2年度でマイナス57という数字が出ており、これだけの待機児童が出るという数字になっています。5年後の令和6年度もマイナス48となっており、不足が予想されています。これに対する市の考え方は、見込み量についてはニーズ調査を中心にしておりましたが、より近い数字にするため魚津市の実態を踏まえた考え方も含めてまとめました。児童に対する入所見込みの児童の割合を算定しまして今後の児童推計値に乗じて算出し、数値を修正しました。それが、本日配布した計画の中のP41の表に反映されています。3号認定0歳児のところは、確保の内容や見込み量を上回っていますが、年度途中の入所が困難になるということも想定されますので、既存施設に対して1、2歳児へ

の定員の割り振りや定員の弾力化によって児童の受入れでの対応を要請していきます。という魚津市の考え方を付け加えています。

保育士不足については、その解消に向けて関係機関と連携強化を図りながら、より良い職場環境づくりに努め、人材の確保及び保育士の定着率の向上を図ります。

働き方として行政のみならず、従来の働き方の見直し、育児休業の取得期間の延長や取得率UP、イクボスの推進等を呼びかける等、企業との連携を図って参ります。また、保育園を利用していない子育て家庭の支援の検討を進めて参ります。

資料1のP3を開いて下さい。保育園と認定こども園に関することですが、公立保育園、幼稚園の閉園、改築、移転、新築、民営化等について記載されている内容の変更の提案ということです。

変更の案としては、園児数の減少、充足率の低下、園舎の老朽化等の要因を勘案し、公立保育園の統廃合や小規模保育園への移行を協議・検討して欲しいということに変更です。理由として、公立保育園の閉園が今後複数園行われますと、現在の計画では将来は3園（青島、経田、道下）が存続することになっていますが、それ以降更に1園、2園という風に減っていき民営化となると民間が8園から9園、10園と増えていくことになり、とてもアンバランスになるので、民間はこのまま8園のままにして、民営化はせず公立は3園または2園（経田と青島）を統廃合する案を提案されました。これに対する魚津市の考えは、今回の計画の策定では大きな柱として、公立保育園の適正配置を謳っています。将来的に公立保育園が青島、経田、道下の3園は公立のまま運営をする方向性を出しています。そして、この計画の中、この3園を更に統合または民営化する計画にはなっておりません。この計画期間以降については、児童数の変化や入所地等の状況の把握をしながら、民間児童福祉施設の運営法人と協議をしていきます。という考え方でお答えさせて頂いています。

ご意見として小規模保育園に移行する提案もご検討頂きたいということですが、魚津市は低年齢児の受入れをする園が増えることはメリットがあると考えていますが、低年齢児に特化した保育の実施については、将来的にその園に転園しなければいけないことや異年齢児交流による発育の観点等から、現在のところ未就学児全てを受入れる通常の保育園や認定こども園の形態が適切であると判断していますので、頂きましたご意見を参考に、今後様々な家庭状況や多様なニーズにお応えできるよう適正な事業のあり方を検討して参りますとお答えさせて頂きました。

子ども・子育て施策についてですが、「すこやか保育」は5年後令和6年度の目標が継続となっていますが、未満児が増えていく中でこの考えで良いのか。というご意見を頂きました。

「すこやか保育」は、園に看護師を配置することで、専門職が必要となる特別保育のサービスなので人材の確保が容易ではありません。今後も関係機関と連携・強化を図りながら職員数の確保に努めるとともによりよい職場環境づくりに努めて参ります。という魚津市の考え方をしながら、令和6年度の目標は継続ではなく、私立の園全園になる8園に修正します。

「産後ケア事業」についてですが、令和6年度の目標が通所型・宿泊型が「実施」となっていますが、プラザの建設ということであれば、具体的な記述等を詳細にするべきではないか。というご意見を頂きました。

「産後ケア事業」については、県内市町村とも連携して既存の施設の利用も含めて、幅広く通所型や宿泊

型の実施に向けて検討して参りたいと思っています。「県内市町村とも連携した支援」という文言を加えさせて頂きました。

「子どもの遊び場」についてですが、子どもの遊べる場や遊べる施設の確保のニーズが高いとのことなので、福島県にある「ポップキッズこおりやま」のような施設を作って欲しい。とのご意見を頂きました。土・日・祝日も開館していて、入場が無料であり、天候に影響されない室内施設であります。ご意見を頂いた方は、休日は滑川市の児童館や高岡市のおとぎの森に行って子どもを遊ばせているそうです。魚津市にもそのような施設ができれば他市からも人を呼び込めるのではないかと。という意見です。

ニーズ調査でも、子どもの遊び場は天候に関係なく遊べる場のニーズはとても高かったです。「天候に左右されない子どもの遊び場」という文言を付け加えさせて頂き、具体的な取り組みについては、令和2年度富山県で新川文化ホールに遊び場の施設の調査事業ということで予算をつけています。そこで、「新川こども屋内レクリエーション施設調査事業」を具体的な取り組みとして追加させて頂きます。魚津市内に4カ所ある児童センターでは土曜日を開館しており、未就学児とその保護者が無料で利用頂けるということ、子ども達のがのびのびと過ごせる環境の確保については引き続き検討して参ります。

「都市公園整備事業」については、全天候型の子どもの遊び場について記載すべきではないか。という意見を頂きました。先の意見と同様に「天候に左右されない子どもの遊び場」の文言の追加と「新川こども屋内レクリエーション施設調査事業」を具体的な取り組みに追加します。

配布資料は、パブリックコメントで頂いた意見を反映した資料となっております。前回の子ども・子育て会議でもお話ししましたが、「第2期子ども・子育て支援事業計画（素案）」の第1期との違いは、児童福祉施設等の広報のあり方を具体的に載せたことです。それは、計画のP51以降になります。公共施設のあり方や子どもの少子化、施設の老朽化等を考えまして、保育園ではP62に記載があるように適正配置の方向性で、保育園では片貝保育園、松倉保育園については、園児数の減少から計画期間内の閉園を検討します。野方保育園は園児数の減少と園舎が老朽化していることから計画期間内の閉園を検討します。大町幼稚園は魚津市唯一の幼稚園であり、ニーズも一部にあることから今後複合施設化も視野に入れながら、改築、移転新築等を検討していきます。

放課後児童クラブについても、上野方放課後児童クラブは利用児童数の状況とつばめ児童クラブの利用児童数の状況を考慮の上、つばめ児童クラブへの受入れが可能な状況が継続するのであれば、統合を検討していきます。

西布施放課後児童クラブについては、通年利用児童が5人を下回る状況になれば、受入れクラブの状況を考慮して、閉所を検討します。

資料1と資料2を併せて説明させて頂きました。

奥田委員長

質問、ご意見がございましたら、お願いします。

委員①

資料1に書いてあるページ数と資料2のページ数がリンクしていないような気がします。

事務局

資料1に書いてあるページ数はパブリックコメントの際に出した「第2期子ども・子育て支援事業計画(素案)」のページ数になります。従いまして、資料2ではズレているところもあります。

委員①

そこを補足しながら進めて頂きたかったです。説明されていても違うページを見ていて、内容についていけなかったです。

事務局

申し訳ございません。

奥田委員長

資料1のページのところを見たら、資料2のページが本来分かるはずなのですね。

事務局

そうなのですが、示されているページがパブリックコメントの際に出した第2期子ども・子育て支援事業計画(素案)」のページになり、その後修正したことにより、若干ページ数がズレました。

だいたい、4ページ程ズレています。

委員②

「産後ケア事業」は実際何ページになりますか。

事務局

「産後ケア事業」はP80になります。

委員②

説明にあった「県内市町村とも連携した支援」という文言はどこに入っていますか。

事務局

本来であれば、P78の「試作目標1 母子保健サービスの充実」の「現状・課題」のところに入るはずだったのですが、抜けていたようです。申し訳ございません。ありがとうございます。訂正させていただきます。

民生部長

「現状・課題」の2つ目の○のところの「産後まもない産婦に対して…」のところに、追加するはずだったのですが、修正されていないので、「県内市町村とも連携した支援」の文言を追記します。

委員③

もう一度、意見に対する魚津市の考えが記載されたページをはっきりと教えて下さい。

事務局

「教育・保育事業等の見込み量と確保の内容に関すること」は資料2のP41になります。②提供体制と確保の考え方の3つ目の・と4つ目の・のところになります。

ただ、保育士不足と働き方の見直しのことが抜けているということで、一番下に追加いたします。

民生部長

前回の素案では、保育士不足と行政のみならずという部分は入っておりました。お渡しする資料にも入ってくるはずだったのですが、3つ目の・と4つ目の・を直した際に下2つが抜けてしまったようです。追記

します。

また、3つ目の・の「2号認定3歳以上児…」と4つ目の・の「3号認定0歳児…」が前回から書きぶりが変わりましたので、今回からこのような記載にさせていただきます。

事務局

保育園に関する意見は、計画に反映させるのではなく、参考にさせて頂くこととなります。この魚津市の考え方をパブリックコメントの回答としてHPに載せるものです。

奥田委員長

イクボスの文言はどこに書いてありますか。

事務局

内容的に言えば、P86の「基本方針5 子育てと仕事の両立を支える」ところで、「施策目標1 雇用環境の整備と啓発」といったところになると思いますが…

奥田委員長

魚津市の企業でイクボスを配置している企業はあるのでしょうか。

事務局

資料1の2ページのイクボス、育児休業に関する記述は、資料2のP86の「基本方針5 子育てと仕事の両立を支える」の一番下の段に追記することにします。

委員④

資料1のアだとP45と書いてあります。それは、前の資料でのページ数ですね。

事務局

そうです。

委員④

全て今回のページを教えてください。

事務局

資料1の2ページの「教育・保育事業等の見込み量と確保の内容に関すること」は資料2のP41になります。

資料1の3ページの「保育園等に関すること」はP62です。

資料1の4ページの「子ども・子育て施策について」の「すこやか保育について」は資料2のP70になります。「産後ケア事業について」は資料2のP78とP80になります。

資料1の4ページ「子どもの遊び場について」は資料2のP85になります。

奥田院長

先程のイクボスの文言の件ですが、資料2のP66にありました。

基本的にパブリックコメントの回答を全て計画に反映するという訳ではないのですね。

事務局

イクボスと働き方改革に関しは、資料2のP86の一番下に「行政のみならず…」の文言を追加します。

こういった形となりますので、計画のご承認を頂きたいです。

奥田委員長

後で訂正された箇所を皆様方にご連絡下さい。よろしくお願ひいたします。  
他にございませんか。

委員⑤

資料2のP70の「すこやか保育」ですが、私立の保育園、認定こども園における0歳児の健康管理のために看護師資格を持った職員を配置します。という施策が5年後の6年度には、目標は私立8園に修正するということでしたが、0歳児は公立の保育園にもいる訳ですが、公立保育園では看護師資格を持った職員の配置ということは、魚津市では全く計画には無いということですか。

事務局

現在魚津市職員の採用計画の中には、看護師を雇用するという計画はございません。従いまして、正規職員の雇用はできないのですが、今後、公立の中においても臨時職員にあたる会計任用職員で看護師の採用は考えていかなければならないとは思っています。こちらに8園と記載されているのは私立の認定こども園という趣旨で記載しています。今後5年間については、公立の保育園では看護師資格の採用はありません。

委員⑤

現在、新型コロナウイルスという新たな病気が流行っている状況です。例えば、小学校には養護教諭が配置されています。今回は、小学校が休校になっていますが、保育園は休園をせずに続けて何十人と密着している中、保育士だけでは大変です。小さい子の方が自分で病気の症状を言えなく、また、アレルギーの子も多くなってきている中で、私立の保育園だけではなく、公立の保育園も看護師を雇うべきです。全部は無理としても、園児を多く預かっている保育園はぜひ今後5年間で考えて頂きたいです。

民生部長

今ほどの意見は、的を得ています。ただ、先ほどの計画の中にも公立保育園の適正配置についての方向性がありましたように今後児童が減っていく中で、公立の小規模園は閉園を検討していくという状況にあります。それを見ながら児童も未満児を受入れるにしても、まずはどこで受入れるかということを検討していく中で、民間の保育園が主体になっていきます。そこで今回は、まずは民間での体制を整えたいと考えています。ただ、新型コロナウイルスという新しい病気が出てきた等社会状況が変化していますので、そういったことを鑑みて公立であっても看護師配置の体制を整えていかなければならない社会状況があれば、その時点で見直しをしていく形になります。

今、この計画を策定している時は、新型コロナウイルスのような病気が出てくるとは想定していなかったもので、今回はこのような計画にさせて頂いておりますが、社会状況の変化に応じて見直していきます。

奥田委員長

看護師資格の無い園に対しては、例えば、保健所から職員に来てもらって保健指導を臨時にしてもらう等の対応も可能だと思います。

民生部長

魚津市には健康センターに母子保健の係りに保健師がおりますので、そういった事態になれば、委員長がおっしゃったように指導に入ったり等、通常のところで連携できることがあれば進めていきます。

奥田委員長

その他何かございますか。



#### 委員⑥

資料2のP87ですが、企業に対してアクションを起こしているという記載があります。1つ目に「地域企業啓発事業」とあり、ワークライフバランスに関するセミナーを開催しているとなっており、令和元年実績で1回となっていますが、実際にどのような内容のセミナーなのでしょう。

また、2つ目に「多様な働き方に関する情報提供」とあり、企業訪問してワークシェアリングやテレワークに関する事等の情報提供を進めます。とあり、120社訪問していらっしゃるようですが、どのような情報を提供しており、最終的にはどのようなことをやっていきたいのか教えて欲しい。

#### 商工会議所

企業訪問ですが、商工観光課の職員5名と商工会議所の職員6名がペアになりまして、約半年間魚津市内の事業所を120社、今年度は140社ぐらい回って参りました。パンフレット等を持って行き、説明してきています。2時間～3時間かけて説明をします。ここ3～4年実施しています。少しずつ広がってきていると感じています。

#### 委員⑥

説明の中身は、女性活躍推進や働き方のことですか。

#### 商工会議所

商工会議所は融資制度等様々な制度の説明をし、市役所はワークシェアリング等の説明をしています。

#### 民生部長

啓発セミナーですが、女性活躍社会であったり、ワークライフバランス等、多様な働き方についての啓発セミナーを魚津市内の企業に呼びかけをして、イクボスを宣言している企業等に声掛けをさせて頂いて啓発を目的としたセミナーを開催しています。

#### 委員⑦

イクボスや男性の育児休業取得や時間短縮等を企業に働きかけの話がありましたが、昨年の10月に富山県知事の街まわりの質問の時にお願いしたのですが、わたくしが赤ちゃんの訪問に伺った時にお父さんの帰りが毎日遅く、赤ちゃんとお母さんが1日長い時間を過ごすことになっています。富山県がその時に示された資料を見ると、富山県の男性の育児参加の時間は全国的に見ても少ないという状況でした。

ぜひ、子どもが小さいうちは残業を少なくして、できたら子どもが1歳までは男性の残業時間を少なくして頂けるように知事にお願いしたのですが、魚津市でも働き方についての情報提供や啓発事業の際に男性の育児時間を取れるように働きかけて欲しいです。

#### 奥田委員長

他にございますか。

2つの協議事項が終わりました。

先ほど、様々な指摘がありましたが、訂正をされる箇所は皆様にお知らせ下さい。

また、ご意見がございましたら、事務局に連絡をお願いします。

その他、事務局で連絡事項はございますか。

#### 事務局

今年度は本日を持ちまして、子ども・子育て会議は終わりますが、来年度も引き続きお願いします。来年

度は7月と2月ぐらいに2回は会議を予定させて頂きたいと思います。協議事項の内容に寄っては文章でお送りして回答を頂く形式のものもあるかも知れません。来年度以降も引き続きよろしくお願いいたします。

奥田委員長

それでは、これで子ども・子育て会議を終了いたします。

皆様、ありがとうございました。

事務局

奥田委員長、ありがとうございました。

委員の皆様からは、貴重なご意見を賜り、熱く御礼申し上げます。

これにて子ども・子育て会議を終了します。次回の会議は7月以降を予定しております。

本日は、ありがとうございました。

以上